

夏休みが始まり2週間経ちましたが、皆さんお元気ですか？ 暑中お見舞い申し上げます。東京オリンピックが始まり、日本は盛り上がっているのでしょうか？こちらでもオリンピックは毎日放送していますが、BBCが放送しているのでイギリスの選手中心ですし、イギリス人の関心の薄い種目、例えばソフトボールや野球などは、ダイジェストもやりません。

オリンピックと言えば、今回いろいろな種目で「男女混合」という種目をやっていますね。しかしイギリスにいて、今後、男女混合種目ってどうなるのだろう？ と思ってしまいます。というのもこちらは、LGBT+Qの考えが当たり前で、性別は個人の問題であり、公にすることではないという発想だからです。NHS(英国保健省)など公的機関に登録する場合も、性別の選択欄に、男・女の他に「言いたくない」「どちらでもよい」などという欄があるのです！ 男女というのは個人のことであり、他人が気にすることではないという考えなので、男女差別は当然ありません。(あったら大きな社会問題になるでしょうね、先日のイングランドの黒人系サッカー選手に対する人種差別問題のように。あの時の人種差別反対の運動はすごかった！) すでにロンドン大学などでは、トイレを男女一緒に使っているのだそうです。(何か日本人としては抵抗がありますが…) 将来的には男女という区別はなくなり、オリンピックも「男女混合」で戦うようになるのかなぁなんて思っていました。

さて、夏休みのお出かけを一つ紹介します。先日、本場の「パディントンベア」を見てき



ました。ご存じですか、クマのパディントンを。ペルーのジャングルからロンドンにやってきたクマのお話で、世界中で人気のシリーズです。そのパディントンベアの像がパディントン駅周辺にあるというので、夏休みの土曜日に行ってきました。



パディントン駅

1番ホームのパディントン→

我が家から電車で20分ほどにあるパディントン駅に、ペルーから主人公のクマが着いたところから物語は始まります。やはり物語と同じ1番ホームの大時計の下に、最初のパディントンを発見！ これからどうしようと考えている姿がかわいいので、ひっそりなしに写真を撮る人がいました。ロンドン中心地にある大きなパディントン駅は不思議な駅で、ホームまでは誰でも入れるので、写真を撮ることが目的で来る人も多くいるようです。近くにいた駅員さんに、せっかくだから私もパディントンと一緒に写真を撮ってもらいました。次に駅構内にあるパディントンショップに行きました。ここで「映画パディントン」のロケ地巡りの地図をもらい、パディントン探しの旅に出かけました。はじめに運河に行くのですが、どこか分からないので別の駅員さんに聞きました。(この駅員さんが陽気な人で、冗談ばかり言ってました。ただ情報は確かで、その通りに行ったら運河に出ました。)



レストラン船

こんな大都会の真ん中に運河があるということだけで感動しましたが、そこに浮かんでいるたくさんの船がレストランやカフェだということに、また驚きました。土曜日の昼近くだったので、たくさんの方が行き交い、そして食事やお茶を楽しみながら過ごしているのを見て、まさに「外国」だと思いました。その後パディントンも何体か見つけましたが、ロンドンにしては珍しく晴れて気持ちのいい日だったので、とても楽しい1日になりました。